

市沢のまちとともに

学校長 森 愛子

本校の教育目標「市沢に生き、共に輝く子を目指します」の実現に向け、今年度は重点研究の主題を『自ら課題意識をもった体験的な活動を通して、共にかかわり合いながら学ぶ姿をめざして』と決めました。各担任は、人や地域とかかわり、協同的な学びのスタイルを創ろうと子どもたちとともに奮闘中です。

3年生以上は総合的な学習の時間、1・2年生は生活科の時間を中心に、他教科とも関連づけて単元の計画を立てていくのですが、クラスごとに子どもと担任とで創り上げていくもので、活動内容もねらいもクラスによって違います。

例えば、低学年のあるクラスではまち探険のなかで出会ったお店に興味をもち、調べているうちにお店の方と親しくなり、お店の方たちが地域の役に立っているように自分たちも地域の役に立ちたいという思いをもち、現在、何ができるのか考え中です。別の学年では、「神田公園エコプロごみゼロ～530大作戦～」として社会の学習をきっかけにごみがいっぱいのまちは嫌だという意識をもち、神田公園をきれいにする活動を続けているうちにまちをきれいにしている人たちがいることに気づき、自分たちもまちに役立つ実践をしようと相談しています。高学年では、「市沢のまち貢献プロジェクト」としてまちの活性化のひとつとして秋祭りを運営する地域の方に現状を聞き、教えてもらったことから自分たちにできることを考えました。一つは自分たちの中で担げる人が担ぐこと、もう一つは4・5年生に祭りの趣旨を教え担ぎ手の募集をすることでした。その結果、今年はいつになく担ぎ手が多かったと喜びの声もいただきました。「安全なまちをめざして！！ぼくたち、わたしたちの市沢まちづくり」では交通安全協会や学援隊の方に話をうかがうなかで、自ら課題や解決方法を見つけています。すでに、多くの方にご協力いただいておりますが、今後、さらに他のクラスも市沢のまちの人や施設や行事などを糸口に、児童の主体的・探究的な学習を深めてまいりますので、ご協力お願いいたします

取り組み1年目ですのに、子どもたちの思い・願いをもとに何かヒントをいただけないかと担任がお声かけすると、急なお願いにもかかわらず、皆さん快く応じてくださり、「そのことならあの人に聞くといいよ。」「今度の会合で伝えておくよ。」とさらに協力の輪をひろげてくださいます。この地域皆様の温かさこそ、子どもたちに体感させたいことなのです。各学年・クラスで活動は違っても育てたいのは、「多様な考え方をもち他者と適切に関わり合い、社会に参画したり貢献したりする資質や能力及び態度」です。今、地域のために貢献してくださっている方々やこの町での暮らしを楽しんでらっしゃる方、仕事を頑張ってらっしゃる方との出会いを通して、子どもたちの学びが豊かになり、自信をもって人や社会と関われる大人になれるよう育てたいと思います。